

【開会 午後2時】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○三上部長 本日は皆様におかれましては大変お忙しい中、ご出席を頂きましてありがとうございます。また、皆様には日頃より市営函館競輪の運営にご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。昨年度は25年度に続き単年度黒字を計上して、累積赤字を減らすことができ大変うれしく思っている。

昨年度の全国の売上は約6,141億円であり、前年比0.8%増である。一日平均売上は9.3%増で、実に23年ぶりの売上増となった。この要因としてFⅠ、FⅡの普通競輪の開催において効果的な場間場外の発売拡大や、FⅡの節数削減による売上の集約、ミッドナイト競輪の開催、ガールズケイリンによる効果等がある。当然、景気の回復が一番大きいと思う。函館競輪場の売上は156億円であり、全国43競輪場中14位の売上であった。

今年は4月から6月の四半期において、公営四競技全て売上プラスとなっているが、競輪においては7月の中頃からの全国のGⅢ・記念競輪の売上が前年比約10%減となり、油断ができない状況である。

今年の函館競輪は8月21日に5年ぶりにGⅡサマーナイトフェスティバルを開催して、3日間の入場者合計は約1万1千人のお客様に会場頂いた。トップレーサーや、ガールズの走りに声援が上がり、大盛況であった。売上は目標額の40億円を超えて、40億7千万円であった。

今年の記念競輪は10月31日から4日間で今年度の閉幕戦となる。今年度も単年度黒字を計上すべく、下期においても効果的・効率的な経営に努め累積赤字を確実に解消していきたい。

3 報告事項

(1) 平成26年度自転車競走事業特別会計決算について

(提出資料(1)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問等はないか。

(各委員：特になし)

(2) 平成27年度市営函館競輪売上状況について

(提出資料(2-1)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問はないか。

(各委員：特になし)

(3) 平成27年度函館競輪下期開催日程について

(提出資料(3)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問はないか。

(各委員：特になし)

(4) 函館競輪開催業務等包括委託受託候補事業者の選定結果および今後の予定
について

(提出資料(4)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問はないか。

○穴田委員 収益保証2億円とはどういう意味か。

○中村課長 1頁を例にすると、平成26年度決算額C欄の歳入歳出差引額(累積収支)△520,610千円は累積赤字を含んでいるので、これを除いた単年度収支(累積収支-繰上充用金)が2億円を下回る場合、2億円を保証するという提案である。

○穴田委員 日本トーターは他の競輪場を何場受託しているか。

○中村課長 10場である。一番近いところでは青森競輪場、次が埼玉県の大宮競輪場と西武園競輪場である。

○穴田委員 競艇場の受託も多いのか。

- 中村課長 競艇場も全国で受託していると聞いている。
- 鶴井委員 業務委託は継続するのが一般的であるのか、切り替わるケースはあるのか。
- 中村課長 記憶している範囲では現在受託している競輪場が変更になったとは聞いていない。
- 鶴井委員 選定結果の配点と得点において、得点というのは審査委員の皆様が合議して決められるのか。
- 今井会長 個人でつけている。それを事務局が集計して、名前を消した形で結果を出した。
- 中村課長 5名の審査委員の平均点を使った。上は400点を超える方、下は350点を少し下回る方がいて、この平均で371点という形になった。
- 鶴井委員 わかりました。システム障害はどの程度の珍しいケースなのか。
- 中村課長 直近では平成23年に一度あり、車券の発売払戻関係であった。今回はそれとは違い、競輪の開催情報といった選手の情報や映像を送ることができなかった。ここがダウンした初めてのケースであった。
- 鶴井委員 補償はあるのか。
- 中村課長 システム障害が起きた8月22日は全国で競輪開催予定していた競輪場が3場あった。昼間10時から開場して10時半くらいから第1レース発売開始する。群馬県の前橋競輪場と三重県の四日市競輪場が発売予定であった。ナイターが函館競輪場のサマーナイトフェスティバルであり、この3場が発売予定であった。このうち、今回のシステム障害により前橋競輪場が開催中止となり、翌日に順延となった。四日市競輪場については、システムが回復した時間が10時30分過ぎであったため、開催したが発走等遅延してシステム障害の影響があった。函館競輪場については、昼からの開場であり、発売は午後3時過ぎであるため、発売には影響なかったが、前橋競輪場のレースの発売予定の臨時場外車券売場が、函館競輪場のレースも発売予定であったが、前橋競輪場

のレース中止のため函館競輪場のレース発売も中止した。前橋競輪場と宇都宮競輪場，館林場外車券売場，利根西前売サービスセンターの4か所が当日のサマーナイトフェスティバルの発売を中止した。この売上がなかったことが函館にとっての損害であると考えている。前橋競輪場は翌日へ順延したため，選手の宿泊など色々な面で追加経費がかかったと聞いている。

- 今井会長 補償というのは損害の部分をいくらか歳入として受けるということか。
- 中村課長 その通りである。車券の発売ではないので，我々が想定する売上から収益を算定して，最終的にこれをJKAと協議になると考えている。
- 小笠原委員 包括委託事業者に2社の申込があつて，結果的に1社となったが何か理由があつたのか。
- 中村課長 辞退した1社に理由をお聞きしたところ，はっきりとした辞退理由の説明は頂けなかったが，総合的な判断をして辞退ということであった。現在，受注している業者がいるためなのかとお聞きしたが，役員会にかけた結果であり，今回は辞退させていただきますということであった。平成22年度にも包括委託業務を更新しており，その時にもプロポーザルでも1社が辞退した。ただ今回辞退した業者と前回辞退した業者は別の会社である。申請が先に出ているため，我々の説明を聞いて，我々がお配りした資料を分析した結果，参加を辞退したと思う。詳細な理由までは教えて頂けなかった。
- 木田委員 サマーナイトフェスティバルは来場者が多く大変な盛況であり，函館のレジャー施設というわけではないが，人が集まり楽しい時間を過ごすという場になっていると感じた。その後に新聞に売上の記事があり，少し時間が経ってから，実はシステム障害があつたと発表になった。行った人は楽しんだと思うが，「しまった，これは行けば良かったな。」と思った人が「なんだ，これは。」と感じるような姿になつたと

思う。水を差すということになるかもしれないが、せっかくのサマーナイトフェスティバルの盛況であったので、マイナスに映る報道となった。おざなりにはせず、きちんとした原因究明して繰り返されないようにしてほしい。年中起こることではないが、先ほど何年か前にもあったとのことであり、繰り返し繰り返しが当たり前のようになるといったことのないようにと思う。

○中村課長 システム障害は全国的に起きたもので、お客様としては「またか。」となり、競輪自体に信用がおけなくなるといった危惧を我々施行者は持っており、我々も気を引き締めてシステム開発・運用と調整して事故が起きないようにしていきたい。

○今井会長 他質問等はないか。

(各委員：特になし)

=以上をもって終了=